

HBsAg L-protein-ST type

(遺伝子組換え HBsAg, L-protein Pre-S1, Pre-S2 活性)

Hepatitis B Virus Surface Antigen, L-protein-ST Type (Recombinant)

B型肝炎ウイルス (HBV) には S、M、L タンパク質の 3 種類の抗原が発現しています。L タンパク質は S、Pre-S2 及び Pre-S1 領域からなり、Pre-S1 領域が無いものが M タンパク質、更に Pre-S2 領域も無いものが S タンパク質です。最も一般的に利用されている HBsAg は S タンパク質のみ、或いは S 及び M タンパク質で構成されている HBsAg です。なお、HBV の感染患者は S タンパク質が主要な抗原のため、S タンパク質に対する抗体を保有しています。

HBsAg, L-protein ST type は L タンパク質からなる粒子抗原ですが、S 領域に天然のエスケープ変異体の変異が 2 か所入っており、通常の S 抗原に対する抗体では認識されません。Pre-S1 と Pre-S2 領域は改変されていません。以上のことから、本品は HBV 感染機能の研究のユニークなツールとして利用可能出来ます。

一般特性

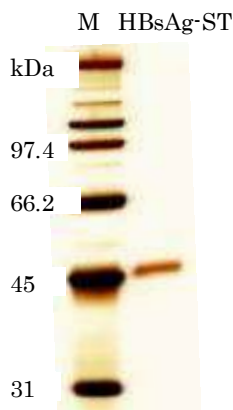
- 発現株 : 遺伝子組み換え酵母 (*Saccharomyces cerevisiae*)
- 状態 : 凍結乾燥 (白色)
- 抗原活性 : Pre-S1 活性は 1000 μ Unit/mg protein 以上です (Unit は当社が保有する標準抗原 1 μ g の持つ Pre-S1 活性を 1 μ Unit と定義し、当社開発の Pre-S1 活性測定用 ELISA 測定した結果です)
- 構造 : HBsAg, L タンパク質は脂質二重膜上に抗原タンパク質が発現したナノサイズの粒子です。その平均粒子径は動的散乱法を用いた測定では 50~60 nm (電子顕微鏡による測定では約 20 nm) です。
- 遺伝子型 : 遺伝子型 C、サブタイプ adr です。但し、S 領域の一部のアミノ酸は置換されています。
- 容量 : 100 μ g (BCL-AGS-02)、又は 2000 μ g (BCL-AGS-20)
- 溶解方法 : 抗原 100 μ g 当たり精製水を 500 μ L パイアルに加えて下さい。抗原濃度 200 μ g/mL の 1% スクロース含有 PBS 溶液 (137 mM NaCl, 8.1 mM Na₂HPO₄ · 12H₂O, 2.68 mM KCl, 1.47 mM KH₂PO₄, pH 7.2 - 7.4) が出来ます。
- 純度 : 95% 以上 (SDS-PAGE 参照)
- 保存 : -20°C (出荷後 3 年間保証)
- 注意 : タンパク質がチューブ等に吸着する恐れがあります。特に低濃度 (100ng/mL 以下) で使用される場合はタンパク質低吸着チューブ等の使用をお勧めします。

製品番号

製品番号	製品名
BCL-AGS	B型肝炎ウイルス表面抗原 Lタンパク質 ST型

SDS-PAGE

HBsAg-L ST を 100ng 電気泳動した結果、モノマーとダイマー (下図では殆ど見えない) が認められました。



株式会社ビークル

E-mail: technical-support@beacle.com

HP: <http://www.beacle.com>